

令和6年度 第1回学校運営協議会 実施報告書

日時：令和6年6月4日（火）11:10～

場所：岩手県立雫石高等学校 会議

授業見学 2校時（10:10～11:00）

委員（五十音順）	上 野 幸 彦	雫石高校を支援する会 会長
	大 橋 良 二	（株）しずくいし 代表取締役 <会長>
	柿 木 典 子	社会福祉法人雫石町社会福祉協議会
	菊 地 正 道	雫石町立雫石中学校 校長
	熊 谷 一 也	盛岡西消防署 雫石分署長
	小 林 周 平	雫石商工会青年部
	櫻 田 七 海	NPO 法人まちサポ雫石 理事長
	櫻 田 紀 子	雫石町総合政策課係長（欠席）
	佐 藤 広 志	雫石高等学校 同窓会長
	下 川 恵 司	雫石町生涯文化スポーツ課社会教育指導員
	山 口 妃路美	雫石高等学校 PTA 会長（欠席）<副会長>
	藤 本 達 也	永昌寺住職 雫石保育園理事長
	吉 田 修	雫石プリンスホテルファイナンシャルコントロール支配人
雫石高校	菊 池 由美子	校 長（委員を兼ねる）
	伊 藤 康 二	副校長
	嵯 峨 真由美	事務長
	田 沼 貴 之	総務主任 代理出席 白旗 菜奈子
	中 村 修 子	教務主任

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 校長挨拶
- 4 委員自己紹介
- 5 学校概況説明
- 6 協議

（1）令和6年度学校運営協議会委員（案）について・・・承認

〔説明〕

・委員は会長1名及び副会長1名を置き、委員が互選となっている。副会長である山口憲司さんが5月に行われたPTA総会で会長を退任し、新たにPTA会長に山口妃路美さんが就任した。よって、学校運営協議会の副会長に山口妃路美さんを推薦し、他の委員は再任することを提案した。

（2）令和6年度学校経営計画について・・・承認

〔説明〕

・重点目標を5点あげた中で、昨年度より大きく変わったのは「不適切な指導の根絶」についてである。これについて組織的に対応していきたい。達成指標については昨年度は2つあげていたが、今年度は端的に判断するために1つに絞った。また、昨年まではいじめの未然防止の観点に重点をおいていたが、その体制が確立したため、今年度はいじめの対処に重点を置きたい。

〔意見〕

・重点目標の中に、生徒の自己実現に向けたキャリア教育の推進があるが、高校卒業後を追跡してほしい。キャリア教育の観点から、離職後の道を切り拓く力をつけることも必要である。

〔回答〕

・ここ5年間、100%進路目標を達成しているが、早期離職が本校の課題である。離職者にも面談をしてフォローをしている。

[意見]

- ・ハローワークにもキャリアコンサルタントがいるので、活用してほしい。
- ・台湾との交流において、本校から台湾に派遣する際には、国際情勢を鑑みてほしい。
- ・雫石軽トラ市に生徒が参加している姿を見て素晴らしいと思う。町の発展の一助を担っている
ので、継続してほしい。
- ・保育園における体験学習や、郷土芸能の演舞等もお願いしたい。
- ・日頃から学校への声かけをお願いしたい。

7 意見交換、委員からの提言

- ・空き教室が多くあるので、地域のために活用できないか。学童やデイサービスなどに利用できたらよい。
- ・学校の情報を伝える「穿石」の発行はよいが、見やすくしてほしい。雫石町からの支援等もPRしてもよいのではないか。社会福祉活動への参加を生徒に積極的に促し、多くの人とコミュニケーションをとり、生き抜く力を身につけてほしい。
- ・今年度の入学生から一人一台タブレットを購入することになっていると思うが、大変ではないか。いつから本格化させるのか。
- ・一人一台端末については6月の考査後から本格実施となる。
- ・町の教育委員会の支援や少人数による指導の説明などから入学者が増えた。学校という財産を説明し報告することは非常に重要である。部活動の連携を図っていく必要があるが、難しい面もある。一緒にスポーツを楽しめる環境を作ることも必要。アーチェリーなどを校外活動として実施するのも一つではないか。
- ・アーチェリーについては、町に指導者がいるので、よい着眼点だと思う。
- ・校外活動としてではなく、部活動として実施するのは難しいか。
- ・子どもの数が減り、教職員の数も減っている。大人数の部活動は厳しい状況にある。他地域や世代を超えて交流していくことが必要である。部活動は大きな変化の時期にある。
- ・長期的にみても部活動の新設等は厳しい状況にあるのか。
- ・新しい部を作るのはかなり厳しい状況にある。

8 その他

- ・特になし

7 閉会

- ・辞令書交付
- ・次回は1月開催を予定している。